

静岡市内におけるアジア向けティーツーリズム の促進による地域活性化

静岡県立大学経営情報学部アムナーゼミ（研究室）

指導教員：准教授 カウクルアムアン アムナー

参加学生：村上迪希、本杉海斗、秋山恭一、菊地蒼空、
久保田有紀、鈴木結太、野呂 賢吾

1 要約

訪日アジア人観光客は増加しているが、実態として静岡市のお茶ツーリズムへの呼び込みは不十分である。これは、アジア人観光客をターゲットとしたお茶観光商品の開発が静岡市のお茶産業活性化の課題となっていることが起因していると考えられる。本研究は、静岡市におけるタイ人観光客を中心としたアジア向け丸福製茶のティーツアーを発展させる。タイ・メーファールアン大学の大学生向けに実施したモニターツアーの評価結果に基づき、茶畑で景色を眺めながらの食事や茶観光活動の提供、多言語ガイドブックなどの資料作成、ツアーを再購入するためのカスタマイズツアーの検討を提案する。

2 研究の目的

オクシズと若松町周辺にアジア人観光客を誘致するための茶観光商品に関するガイドラインの策定を提案する。

3 研究の内容

本研究は、丸福製茶の観光商品としてのティーツアーを展開するためのガイドラインを提供するために、2つの部分に分けた。

- （1）ティーツアーの発展
 - 1) オクシズと若松町周辺の観光資源の調査
 - 2) 観光ステークホルダーの連携
 - 3) モニターツアーの実施、評価
- （2）ティーツアーの情報発信

4 研究の成果

当初の計画

1. アジア向けティーツアーと茶製品のニーズについての質問紙調査及びインタビュー実施（タイ・メーファールアン大学と一部連携、9月～10月）
2. アジア向けティーツアーと茶製品のニーズについての情報収集や意見交換（11月）
（千代田タクシー、静岡茶商工業協同組合、静岡市経済局農林水産部農業政策課 お茶のまち推進係、静岡県お茶振興課、世界緑茶協会、地域振興交流協会他などの連携する団体）
3. オクシズと若松町周辺のティーツアーを実施、評価（12月）
4. SNS や旅行会社にオクシズと若松町周辺のティーツアープログラムや茶製品の情報を発信（1月）

実際の内容

B 一部修正の理由

当初の計画から、本研究は一部修正がある。変更部分はアジア向けティーツアーと茶製品ニーズについての質問紙調査及びインタビューを実施しないこととした。ティーツアーや茶製品に対するニーズ調査は、モニターツアー終了後に実施することが適当だと考えられる。なお、ツアーの結果やコメントは、アンケートやインタビューに活用する。

実績・成果と課題

1. ティーツアーの発展

丸福製茶のティーツアーを発展するために、訪日アジア観光客向けの日帰りモニターツアーを実地した。

1) オクシズと若松町周辺の観光資源の調査

10月21日～22日まではゼミ性が二つのグループに分かれて現地調査を行った。グループ1は10月21日に若松町にある福丸製茶を訪問、茶製品を学ぶ、お茶工場で煎茶生産課程を見学した。グループ2は10月22日にオクシズのフィールドワークを実地した。平野の小澤わさび農園、有東木の静岡世界農業遺産のわさび園、丸福製茶の無農薬茶園や荒茶工場、真富士の里を調査した。

2) 観光ステークホルダーの連携

日帰りモニターツアーを計画するため、千代田タクシー、小澤わさび農園、こぐまPlaceの食事を予約した。アジア観光客としてタイ・マーファールアン(Mae Fah Luang)大学のツアーに参加する教員と学生と共に会議を行った。

3) モニターツアーの実施、評価。

実施日時：12月14日 9:00～17:00

参加者：静岡県立大学 教員1人、学生7人

マーファールアン大学 教員1人、学生7人（タイ人4人、ミャンマー人3人）
丸福製茶 2人、地域振興交流協会 1人（写真1）

ツアーのタイムスケジュール

- 9:00～10:00 静岡駅北口からタクシーで出発
- 10:00～11:00 小澤わさび農園の訪問、静岡世界農業遺産のわさびを学ぶ
- 11:00～12:00 有機栽培をしているお茶の平野園を訪問、茶畑の景色を見る、茶栽培などを学ぶ
- 12:00～13:00 古民家「こぐまPlace」で昼食（わさび料理）
- 13:00～13:30 丸福製茶の荒茶工場を訪問、荒茶の作り方を学ぶ
- 13:30～14:00 「真富士の里」の訪問、わさびソフトクリームなどのお土産を買う
- 14:00～15:00 丸福製茶の工場まで移動
- 15:00～16:30 丸福製茶の工場の見学、伝統的な茶工場の見学、お茶づくりの体験
- 16:30～17:00 静岡市まで歩く

ツアーの日程の通り、各場所で静岡県立大学の学生がガイドとして英語で案内、YouTubeの動画を撮影した(写真2)。訪日観光客としてマーファールアン大学の学生はツアーの満足度、旅前(プレテスト)と旅後(ポストテスト)の茶に関する知識や態度を評価した。

モニターツアーの評価結果

① 観光客の満足度

7人のマーファールアン大学学生のツアー全体を通しての満足度は、やや満足が57.1%（4人）、満足が42.9%（3人）であった。各項目の評価は表1の通りである。

表1 モニターツアーの満足評価結果

No.	項目	満足度	平均
1	小沢わさび園	4人（57.1%）が満足、3人（42.9%）がやや満足	4.57
2	平野の茶畑	6人（85.7%）が満足	4.86
3	古民家ランチ	満足、やや満足が各3人（42.9%）	4.29
4	荒茶工場	4人（57.1%）が満足、どちらでもないが2人（28.6%）	4.29
5	特産品	3人（42.9%）が満足、やや満足・どちらでもないが各2人（28.6%）	4.14
6	製茶工場	5人（71.4%）が満足、	4.71
7	お茶淹れ体験	6人（85.7%）が満足	4.71
8	お茶の試飲	5人（71.4%）が満足	4.57
9	タクシー	6人（85.7%）が満足	4.86
10	ガイドサービス	4人（57.1%）が満足、2人（28.6%）がやや満足	4.43
11	英語情報	4人（57.1%）が満足、2人（28.6%）がやや満足	4.43
12	ツアーのおすすめ度	4人（57.1%）がお勧めしたい、2人（28.6%）がややお勧めしたい	4.43

観光客のコメント

- ツアー全体としては高評価のコメントが多数。
- 日本語での早い説明に対して理解ができないといったような場面があったため、英語の情報が必要。
- お茶畑で景色を眺めながらの食事やお茶について学ぶ機会があるとよりよい。

② お茶に関する知識

静岡市の茶栽培地域、茶栽培方法、煎茶の生産過程、日本茶製品の種類、丸福製茶の特品についての知識を評価した。タイの学生7人のお茶に関する知識テストの平均は10点満点中旅前(プレテスト)で5.14点、旅後(ポストテスト)で9.14点という結果となり、ツアー前後で4点の上昇が見られた。ツアーにより、お茶に関する知識を得ることができたと推測できる。

③ 態度

興奮、幸福、リラックス、好み、お茶の学習、価値、お茶の試飲への欲求、お茶を作りたい欲求、お茶製品を購入したい意欲、ツアー体験の共有、ツアーを他の人に勧める、ツアーのために再購入する12感情の項目を評価した。ツアーに対しての意欲・姿勢に関しての平均は7点満点中旅前(プレテスト)で6.52点、旅後(ポストテスト)で6.82点という結果となり、ツアー前後で0.3点の上昇が見られた。ツアーに対して事前に持っていた期待に沿う、ツアー内容であったと推測できる。

2. ティーツアーの情報発信

丸福製茶の茶ツアーを促進するために、タイ人を中心としたYouTubeの動画（写真3）とポスターを作成した（写真4）。YouTubeの動画はNit-Thai Heritageチャンネルに掲載する。ポスターはSNSの情報発信としてFacebookやInstagramなどを投稿する。

今後の改善点や対策

アジア向け丸福製茶ティーツアーと茶製品ニーズについての質問紙調査及びインタビュー調査は2025年3月以降タイ・メーファールアン大学茶・コーヒー機関と共に実地する。調査はモニターツアーの結果やコメントなどをアンケートやインタビュー項目を活用する。ツアーのPRとしてはタイの旅行会社やカフェなどに外国人向けツアーのポスターや観光情報を掲示する。オクシズと若松町周辺以外、他の地域の観光資源や魅力に繋がるツアーを考える。

5 課題提出者・地域への提言

モニターツアーの結果に基づいて、丸福製茶への提言は3点ある。

- ① 満足度の結果のコメントに対応、茶畑で景色を眺めながらの食事やお茶についての観光活動を提供することを検討するべき。例えば、無農薬茶畑にある伝統的な小屋でピクニックランチをするなど。
- ② お茶に関する知識について、ツアーには多言語ガイドブックなどの資料を提供することが必要である。資料にお茶生産過程、体験のため茶の作り方、茶製品、お茶の健康効果などの情報を掲載することで観光客はツアーの前、ツアーの中、ツアーの後の時にお茶を学ぶことができる。
- ③ 態度評価結果の検討について、ツアー内容は観光客の期待に沿うが、再購入ツアーに対応するため、ツアーをカスタマイズすることが必要である。

6 課題提出者・地域からの評価

静岡市内の茶生産は、国内茶市場の縮小・農家の高齢化により厳しい状況が続いている。丸福製茶では、コアなファン作りや消費者に日本茶についての知識を深めてもらうため、ティーツアーを始めた。欧米のツーリストは増えつつあるが、アジア圏の顧客も集客したいため、今回アジア圏向けのティーツーリズムの提案をお願いした。実際にタイの先生や学生に来日してもらい、様々な反応を目にすることができたことが大きな収穫だった。茶畑の見学や、お茶淹れ体験を楽しんでくれていた姿が特に印象的だった。アジア圏の顧客にも受け入れられるポイントだと感じている。提言を受け、よりツアーや商品をブラッシュアップし、アジア圏のツーリストにも当社を知っていただけるよう、努めていきたい。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



写真1 モニターツアーの参加者



写真2 英語でツアー案内のYouTube動画撮影



写真3 YouTubeのPR動画



写真4 ツアーのPRポスター